

## — 県内大学初の建築学科 —

### 「静岡理工科大学 理工学部 建築学科」と「建築学科棟 えんつりー」

#### 建築学科について

2017年4月県内大学では初めての建築学科が静岡理工科大学理工学部に設置されました。

静岡県では、建築の耐震・防災技術、省エネルギー住宅、循環型社会の地域まちづくり等を担える建築人材のニーズが高いにも関わらず、県内大学には、今まで建築学を総合的に学べる学科はありませんでした。静岡理工科大学理工学部建築学科は、地域での建築群、環境、コンパクトシティ、防災等の研究を通して、静岡県に適したエコ住宅や公共建築等のデザインや建築計画を考え、建築意匠・構造・環境設備の技術を学び、静岡県で生活する人々の文化と融合し、新たな文化を創造する建築家・建築技術者を養成します。

静岡理工科大学理工学部建築学科の概要は、次の通りです。

◇開設：2017年4月

◇定員：学部50名（50人／学年×4学年＝200人）

（平成33年4月大学院修士課程設置予定）

◇教員：9人（予定）

◇特徴：実務経験豊富な教員陣、新校舎を環境、耐震等の研究の対象とした教育研究、少人数教育、地域の行政と連携したPBL<sup>\*</sup>教育、防災・減災技術・省エネルギー技術の普及に向けた教育・研究

◇目指す主要な資格：一級建築士（要実務経験2年）、二級建築士、インテリアプランナー、建築施工管理技士など、

<sup>\*</sup>PBL（ProblemあるいはProject-based Learning）：学生が主体となって行う問題解決型の学習

#### 「entree 建築学科棟 えんつりー」について

建築学科の開設にあわせ、「建築学科棟 えんつりー」が、2017年2月に竣工しました。「えんつりー」の名称は、デザインコンセプトである「縁側」と構造的な特徴である「樹木」、学生が入学し、あるいは社会に羽ばたく言葉として「Entry」を組み合わせて考案され、市民に開かれた建物、かつ木の縁側がある建物などの意味を持っています。entreeの「T」の曲線は、台形型のキャンパス軸を受けとめるために生まれた外壁の曲線をトレースした形状を表現しています。

entree

#### 建物概要

◇建築名称：静岡理工科大学 建築学科棟 えんつりー

◇用途：大学

◇設計：古谷誠章+NASCA（ナスカー級建築士事務所）

◇施工：鈴与建設株式会社

◇建築主：学校法人静岡理工科大学

◇所在：静岡県袋井市豊沢 2200-2

◇構造：鉄骨造4階建て（ブレース付きラーメン構造）

◇延べ面積：3,520 m<sup>2</sup>

◇主な施設内容：1階—デザインスタジオ、講評室 2階—講義室、アクティブラーニング室、PC室 3階—教員研究室、ゼミ室、会議室 4階—環境・設備系ラボ、意匠・計画系ラボ、構造・生産系ラボ



「T」の曲線の元となった外壁曲線